

ECEC

Early Childhood Education and Care



No.02
ECEC
ニュース

新しい保育・幼児教育をめざして



子どもが夢中になる
「ガイドされた遊び」って？
(Guided play)

楽しく 遊びながらの 教育



榊原 洋一

CRN所長。医学博士。お茶の水女子大学大学院教授。1951年生まれ。専門は小児神経学、発達障害。

日本の保育・幼児教育は、子どもの自発的な遊びを大切にしています。どうして、と聞けばたぶん「遊びは子どもの本来の姿だから」という答えが返ってくると思います。でも、学力を伸ばすためには遊びより教育の方が良いのではないか、という質問には、これでは十分に答えることができません。そんな疑問に対して、発達心理学の立場から明解な答えが出つつあります。アメリカのパセック博士のグループの研究によると、子どもの発達には、「ガイドされた遊び (Guided play)」がより有効であるようです。

「ガイドされた遊び (Guided play)」とは？

「遊びを通じた保育」は、子どもの成長発達・学びに良い影響をもたらす、ということがアメリカの研究結果から実証されつつあります。中でも、保育者など周囲の大人による「ガイドされた遊び (Guided play)」がより有効であることが示されてきています。東京大学大学院教授の秋田喜代美氏によると「Guided playは、子ども始発の自由遊びと保育者の教育の意図のもとでの指導の間にあるあり方の総称としてとらえられている。なぜGuided playが重視されるのかといえば、子どもが夢中になって取り組む方が直接的な指導よりも社会情緒の発達、言語発達等に有効 (Lillard et als, 2013) であることが指摘されているからである。また、自由遊び (おもしろい、自発性、柔軟性、外的な目標はない、積極的な関与) や発見的な学び、意図的な教授の要素をGuided playは含むと考えられるからである」とのことです。



パセック博士の研究を参考にCRNで作成

上記の内容
について

日本、中国、台湾の専門家が集まって議論する
イベントを開催しました！



チャイルド・リサーチ・ネット (CRN) では、「遊びと学びの子ども学 ~Playful Pedagogy~」と題し、楽しく遊びながらの教育 (Playful Pedagogy)、ガイドされた遊び (Guided play) といった保育・幼児教育の概念を中心に、遊びと学びについて議論するイベントを開催しました。

イベントの内容詳細は、こちらをご覧ください。

<http://www.crn.or.jp/ecec/>



お知らせ

写真で語る保育・幼児教育の現状 ～貴園のエピソード・事例を写真で送ってみませんか？～

チャイルド・リサーチ・ネット(CRN)では、ECEC 研究の一環として、「写真で語る保育・幼児教育の現状」という企画を実施しています。園の個々の事例を物語る写真を数多く収集し、日本の保育・幼児教育のよさを世界に向けて発信していこうと考えています。



写真の例



この企画では、子どもの主体性を育む取り組みについての写真を幅広く募集しています。たとえば

- ・園のエントランス
- ・おもちゃや絵本等の並べ方
- ・園庭
- ・季節の行事やイベント
- ・子どもたちが遊んでいる様子

など、日頃から工夫されている点、改善された点などはありませんか？その様子を、写真とともに、ぜひご紹介ください。

写真提供にご協力いただける幼稚園・保育所・認定こども園のみなさまは、園の名称／所在地／園児数／添付写真（jpg ファイル、5 枚まで）／写真のご説明、アピールポイント（1 写真につき、説明文は 100 字を目安に）を明記の上、crninfo@crn.or.jp 宛てにご連絡ください。

◎ご応募いただいた写真は、チャイルド・リサーチ・ネット(CRN)のホームページに掲載させていただく場合があります。

◎掲載となった場合は、保育・幼児教育専門の研究者等によるコメントを添えて掲載いたします。

◎掲載させていただく際は、薄謝をお送りいたします。

◎ユニークな取り組みがなされたものについては、「これからの幼児教育（ベネッセ教育総合研究所、年3回発行）」にも掲載させていただく可能性があります。

66

自ら積極的に関わらずにはいられない
魅力的な環境をつくることで、
子どもたちの主体性の育みや、
異年齢の子ども同士の関わり合いを
促す工夫をしています。

みなさまからの写真をお待ちしております！

◆応募に際しての注意事項◆

- ・園でご撮影・執筆されたもので第三者の権利を侵害しないものに限りです。
- ・ご提供いただきます写真は、顔が写っている被写体の方全員の同意（被写体が 18 歳未満の場合は、保護者の同意）を、あらかじめ得てから送付してください。
- ・掲載となった場合は、ご提供いただいた写真およびアピールポイント原稿を、編集方針に則って、編集させていただくことがあります。
- ・また、英語、中国語に翻訳して、チャイルド・リサーチ・ネット（CRN）の英語版・中国語版ホームページに掲載することがあります。
- ・ご応募いただきました写真はお返しできませんので、ご了承ください。

ECECとは？

ECECとは、Early Childhood Education and Careの略語で、直訳すると「人生初期の教育とケア」を意味します。チャイルド・リサーチ・ネット（CRN）はECECを「新しい保育・幼児教育」を表すことばと位置付け、ECEC研究を進めております。※その他、ECCE、ECD等の用語で議論されることもあります。

編集後記



子どもの潜在能力は無限です。毎日楽しく遊びながら子どもが能力を伸ばしていく。私も一人の親として、こんなことができると、理想的だと思います。その理想をどう実現するか、国境を越えて、みなさんと一緒に科学することにワクワクしています。（劉 愛萍）



子どもたちが毎日当たり前のように行っている遊びの中にこそ学びがあふれている、という視点は、新鮮でありながらうなずけるものだと思います。日々伸びゆく子どもたちの成長の芽に気付き、それをもっともっと伸ばしゆくために、一人の親として、大人として、何ができるのか、CRNの活動を通して考えていきたいと思っています。（小川 淳子）

チャイルド・リサーチ・ネット(CRN)の組織概要・運営体制

所長：榎原洋一（お茶の水女子大学大学院教授）／名誉所長：小林登（東京大学名誉教授、国立小児病院名誉院長）／特別顧問：石井威望（東京大学名誉教授）／コーディネーター：劉 愛萍 小川淳子（ベネッセ教育総合研究所）所在地：〒206-8686 東京都多摩市落合1-34（株）ベネッセコーポレーション内

チャイルド・リサーチ・ネット(<http://www.crn.or.jp/>)は、(株)ベネッセコーポレーションの支援のもとに運営されている国際的・学際的なインターネット上の「子ども学」研究所です。

Benesse®

CRN で 検索



ECEC03